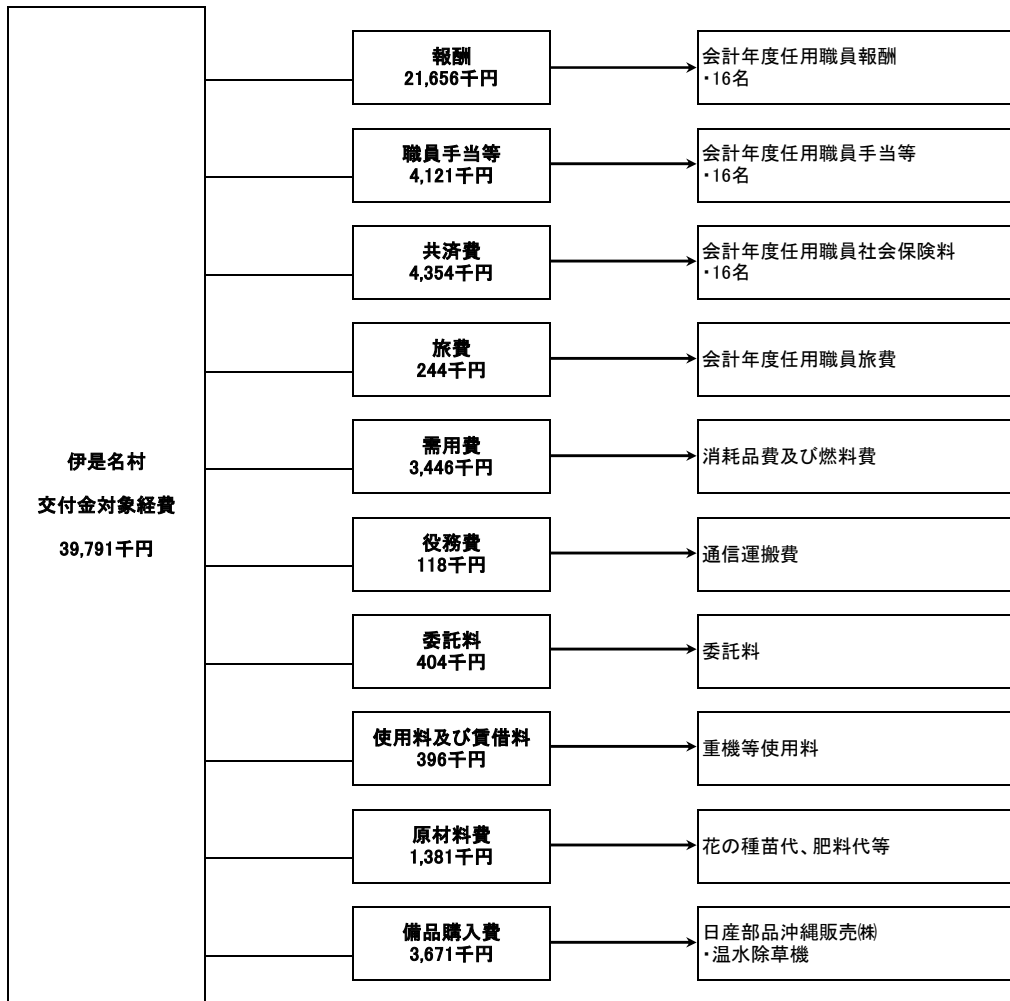


市町村名		伊是名村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	観光地等クリーンアップ事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-7	
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	イ 観光の振興に資する事業等 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	本村に数多く点在する史跡や文化財を地域資源として活用していくため、村内の各種イベントで使用する会場や観光施設、観光ルート等の草刈り作業や花壇等の環境整備を行い、花木等の植栽など美化活動を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
		(a) 当初予算額	35,000	45,000	54,092	51,220	55,330
		(b) 予算現額	35,000	44,000	64,224	41,470	40,696
		(c) 増減額(b-a)	0	▲1,000	10,132	▲9,750	▲14,634
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	35,000	44,000	64,224	41,470	40,696
		B. 執行済額	34,027	43,362	62,929	39,329	39,791
		うち交付金充当額	27,214	34,689	50,343	31,463	31,833
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	97.2%	98.6%	98.0%	94.8%	97.8%
予算の状況の説明	草刈作業員(A)15名、草取り作業員(B)5名を予定していたが、当初の募集にて予定人数の応募が集まらなかったことや、年度途中退職者がでたことにより、最終的に16名の雇用となったため人件費の減額となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		花木の植栽及び肥培管理:16カ所 緑化除草作業及び海浜清掃:16カ所	目標 (実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	目標 ()	()	()	()	()		
実績							
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・観光ルート及び観光施設等の草刈りや花植えについては、現場の状況やイベント日程等を勘案しつつ、作業員等と相談し作業を実施した。また、花壇の草取り、花木の植栽及び肥培管理も作業員と相談し実施した。 ・作業員が少ないため、作業員の負担軽減を図るべく、草取り後の除草剤散布を始めた。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
		観光地周辺の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケートにより実施する。	目標 ()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		97%	99%	83.87%	
		目標 ()	()	()	()	()	
	実績						
進捗状況説明	本事業の成果を客観的に測るため、入域者(観光客)及び村内住民に対し観光地の景観についてのアンケートを実施した。アンケート集計した結果、(問2)観光スポットはきれいと感じたかについて、「大変そう思う」が83%、「やや思う」が16%、合算して99%の方が満足したと回答しており、目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標の数値が目標値を上回った要因として、観光地へ向かう沿道の草刈り等を強化した結果、観光客対象のアンケートにて高い評価を得たと考える。 ・観光ルート、観光地等の草刈り及び植栽作業は、人員の確保や悪天候による作業中止といった課題がある。 ・作業員人数が少ないため、雑草繁殖に対応できないことが多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・雨天時の作業中止に伴う、作業効率低下の改善を図るため、休日振替で作業実施するか検討する。 ・今年度、村民向けアンケートを実施したが、厳しい意見もあったため、花植え方法や場所を検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・沿道にある植栽帯は、球根類を植え極力手のかからない取り組みをし、公園内を重点的に管理し景観形成向上に努めたい。 ・作業員間のコミュニケーションを強化し、年度内退職者がでないよう働きやすい環境づくりに努める。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
39,791	39,791	31,833	7,958	0



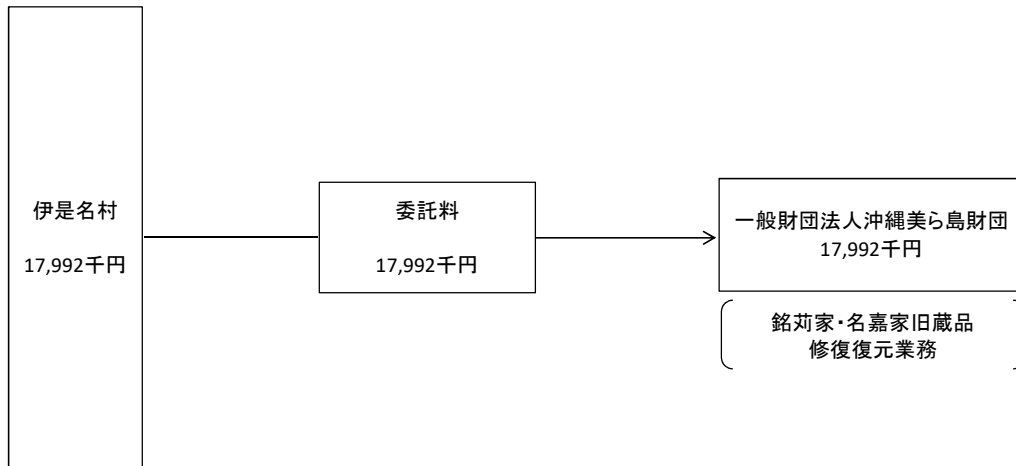
資金の流 れ、費 目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○任用職員は公募により雇用を行っており、適正に支出され妥当と認識している。 ○予算規模について当初計画から26%減となっているが、任用職員が計画どおり雇用できていないのが要因。 ○費目・用途は事業目的に即し必要最小限なものであり、妥当であるとする。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊是名村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	「尚円王(金丸)生誕の村」整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア	
担当部署名	教育振興課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	イ 観光の振興に資する事業等 Ⅲ-10-(1)	
事業内容	魅力ある歴史の島づくりを進め、更なる誘致による観光振興を図るため、PR活動を行う一方、尚円王に関する文化財の修復を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a)当初予算額	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
		(b)予算現額	31,900	11,977	16,064	18,800	18,000
		(c)増減額(b-a)	31,900	12,005	12,172	17,574	18,000
		(d)繰越額	0	28	▲ 3,892	▲ 1,226	0
		A.計(b+d)	0	0	0	0	0
	B.執行済額	29,028		11,977	12,172	17,574	17,992
		うち交付金充当額		9,581	9,737	14,059	14,393
		次年度繰越額		0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		91.0%	99.8%	100.0%	100.0%	100.0%
	予算の状況の説明		令和3年度予算については、事業計画通り執行が完了している。				
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	旧蔵品修復・復元の完了	目標	(完了)	(完了)	(完了)	(完了)	
		実績	完了	完了	完了	完了	
	評価委員会の実施	目標	()	()	(実施)	(実施)	
実績				実施	未実施		
達成状況説明	本年度修復対象とした古文書について修復を実施した。評価委員会については、新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、委員の来島が困難な状況が続いたため開催を見送り、配分予算については、古文書修復へ組み替え執行した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	旧蔵品を利用した祭事への来場者数	目標	()	(240)	(250)	(250)	()
		実績		79	56	72	
	アンケート調査 満足度80%以上	目標	()	()	()	(80%以上)	()
		実績				75%	
進捗状況説明	本年度修復対象である古文書について調査、修復を実施し、これを完了することができた。また、旧蔵品の模造復元資料を用いた祭祀行事である公事清明祭への来場者数を計測し、目標値250人と設定したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止措置のため、一般観覧者の入場を規制し、一部関係者のみで開催したため、来場者は72人に留まる結果となった。また、アンケート調査については修復した旧蔵品を展示する本村ふれあい民俗館の入館者を対象に任意で協力頂いた。結果、満足した及びやや満足したと回答した割合が75%となり、目標とした80%には僅かに届かなかった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 旧蔵品の修復については、熟練した技術を要する職人による手作業となることから、作業時間が膨大となるため、計画的且つ継続した事業の実施に取り組む必要がある。 修復した旧蔵品については、文化財として保存を図るとともに、教育現場等の教材として活用することにより、島内の子ども達が生まれた島に誇りをもっていけるような機会の醸成に努め、併せて尚円王ブランドとして本村のPRへ繋げるための方策を積極的に展開していく必要がある。 昨今の新型コロナウイルス感染症に基因する社会情勢により、当該事業の成果品を活用したイベント等の実施が困難な状況にある。 	<ul style="list-style-type: none"> 旧蔵品の修復については、資料の状態を考慮し優先度の高いものから計画的に事業を実施する。また修復期間を可能な限り多く確保する為、年度開始後、早急に事業者の選定を行う。 保存修理の完了した旧蔵品をはじめとした文化財について積極的な活用・情報発信を図っていくとともに、利活用状況等を適切に把握することで、PR方法や活用方法の見直し等について適宜行えるようになるものと考えられる。 本年度については、村外より不特定多数の人々を迎えるイベント等の実施が見送られ、次年度以降代替策として有効な方策を検討する。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 修復対象品目の選定にあたっては、事前に必要性、緊急性等を勘案し、翌年度以降にどの品目を修理・復元の対象とするかを事前に検討しておくとともに、劣化具合等を継続的に把握することで、必要に応じて優先度の再検討を行い、事業を実施していく。 修復が完了した資料については、観光資源として展示・公開に供すると共に、地域における文化財への意識高揚を図る取り組みへ活用する。また、本年度アンケート調査において、ふれあい民俗館での展示について解説文が少ないなどの改善点を指摘する意見が多数あり、今後はより理解度や満足度を向上できるよう、展示内容や方法について改善に努める。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
17,992	17,992	14,393	3,599	0



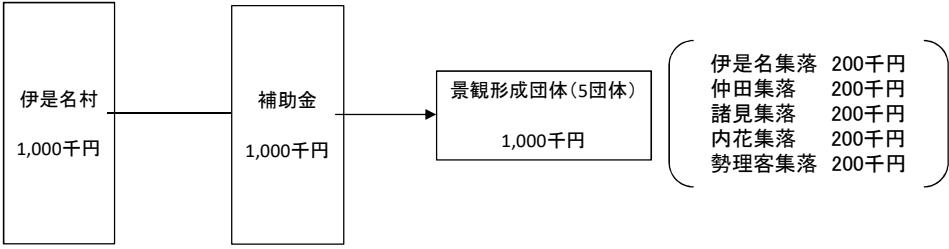
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> 当該業務については、業務の技術的特性から一社随契を予定し、適切な価格性の確保から複数の業者からの見積により選定していることから、適正であった。 予算規模については、事業内容に見合った適正な規模であったと考える。 実績により成果物、書類等を精査し、委託料を確定しており妥当と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		伊是名村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑦		沖縄らしい風景づくり推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-ア	
	担当部署名	企画政策課		事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	イ 観光の振興に資する事業等
事業内容		魅力的な観光地としての景観形成を図るため、景観形成活動を行う団体を支援する。					Ⅲ-10-(1)
	効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額	7,000	1,000	1,000	1,000	1,000
	(b) 予算現額	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 6,000	0	0	0	0	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
	B. 執行済額	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
	うち交付金充当額	800	800	800	800	800	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明		当初計画通り適切に執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	景観形成への支援 団体支援→5団体		目標 (団体支援5団体)	(団体支援5団体)	(団体支援5団体)	(団体支援5団体)	
			実績 団体支援5団体	団体支援5団体	団体支援5団体	団体支援5団体	
			目標 ()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明		村内5団体へ助成し、各団体において様々な景観形成活動を行った。令和3年度は、集落内の雑木の伐採や剪定、花植え作業、集落入口周辺や地域コミュニティの拠点となる公民館周辺、空き地に繁茂する草木の草刈り作業等に積極的に取り組んだことで、集落内の景観が保たれた。また、花植えを実施したことにより良好な集落景観を創出し観光振興に繋げることが出来た。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	観光地としてふさわしい景観であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。		目標 ()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実績	83%	89%	75%	
	【参考指標】		目標 ()	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明		新型コロナウイルス感染症の影響により昨年度同様、入域観光客数が平年を下回ったが、観光最盛期を軸に年間を通してアンケート調査を実施した。 集落内景観に関する満足度について、アンケートに回答した124人の調査票を集計した結果、おおむね満足に該当する回答者が93人であった。満足度は75%であり、昨年度よりも満足度が低下した結果となったが、回答者の半数以上がおおむね満足している状況である。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 満足度80%という目標を達成する事が出来なかった要因として、新型コロナウイルス感染症の影響による観光客等の往来者の減少、アンケート調査の周知不足が挙げられる。しかし、取り組み自体は各集落が積極的に景観形成活動を実施したこと及び観光客等が各区を訪れる際に玄関口となる集落入口周辺を重点的に作業し良好な景観形成が図られたと考える。 集落景観について「満足」と回答した意見の中に、花が少ないので花を増やしてほしいや花植え後の肥料管理を意識してほしいなどの意見があった。 成果目標及びアンケートの回収率は昨年度よりも減少したことを踏まえ、アンケート調査の実施方法及び回答内容を反映させた事業の実施検討が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 各団体足並みを揃えて活動するという点については、おおむね実行できたと考える。次年度も各団体と連携し事業を推進する。 集落景観の満足度についておおむね良好という回答が75%であり、過半数以上が満足した結果となったが、目標値を下回ったため、アンケートで意見があった花植えなどの取り組みを推進し満足度向上を図る。 アンケートの回収方法について、現状、フェリーに備え付けているのみであるため、村内の主要な施設や民泊事業者などと調整し幅広く回答できる仕組みの構築が必要であると考え。また、SNSなどを活用し広くアンケートの周知活動を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
<p>満足度調査の結果を踏まえ、いただいた意見を反映し満足度が向上するよう各団体と調整の上事業を推進する。また、アンケート調査の実施・回収方法について、回答数の増加が図られるよう関係者と調整の上検討を進める。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
1,000	1,000	800	200	0



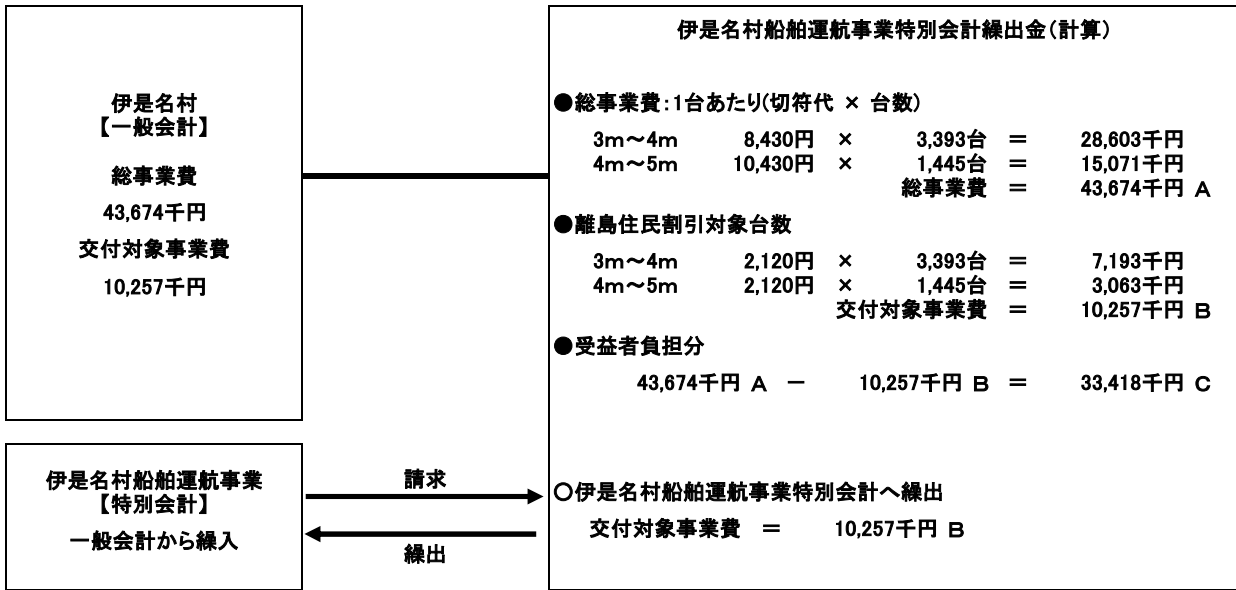
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○交付要綱に基づき決定しており、妥当である。 ○当初計画通り執行されており、妥当である。 ○実績報告に基づき書類等検査し、経費については対象経費に限定されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊是名村							
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-①	自動車航送コスト負担軽減事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-7			
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	夕 離島の振興に資する事業等 Ⅲ-9			
事業内容	離島の不利性を解消し、定住促進を図るため、沖縄本島の今帰仁村運天港と本村を結ぶフェリーの自動車航送運賃を軽減する。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	13,001	13,063	13,117	13,026	12,549	
		(b) 予算現額	13,340	13,063	13,115	10,636	11,094	
		(c) 増減額(b-a)	339	0	▲ 2	▲ 2,390	▲ 1,455	
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	13,340	13,063	13,115	10,636	11,094		
	B. 執行済額	13,340	12,902	13,115	10,375	10,257		
	うち交付金充当額	10,672	10,321	10,492	8,300	8,205		
	次年度繰越額	0	0	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)	100.0%	98.8%	100.0%	97.5%	92.5%		
予算の状況の説明	目標6,000台以上を見込んでいたが、新型コロナウイルスの影響に伴う利用者の減により4,838台にとどまった。執行率は、計画どおり執行されており適正であったと考える。							
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	自動車航送往復運賃(伊是名⇄運天港)の負担軽減		目標	(負担軽減)	(負担軽減)	(負担軽減)	(負担軽減)	
			実績	負担軽減	負担軽減	負担軽減	負担軽減	
			目標	()	()	()	()	
			実績					
達成状況説明	新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う渡航自粛により航送台数が減少したものの、村民の唯一の交通手段である船舶の車両航送運賃の負担の軽減を行ったことで、本島との往來の定住条件の向上に寄与した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図れたか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。		目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実績		95.60%	90%	93.2%	
	【参考指標】		目標	()	()	()	()	()
			実績					
	進捗状況説明	アンケート調査を行ったところ、目標数値である80%以上の住民から満足していると意見を得られた。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症防止対策に伴う渡航自粛や減便運航、軽石の漂着による欠航が相次いだことにより自動車航送台数が減少したが、アンケート調査では、93.2%の住民から満足していると意見が得られた。 車両を乗せる場合に予約済みの方が出航する10分前に切符を購入することが多く、予約してない方が先に乗船してしまうことがありトラブルの原因となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 車両の切符の販売に関して、車両乗船の予約済みの方もしていない方も出航30分前には車両待機場場に待機するよう、周知徹底し安全な乗船の効率化を図る。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> 車両予約済みの方もしていない方も、出航30分前には車両待機場場に待機するよう、村ホームページや防災無線を利用し周知徹底し安心安全な乗船の効率化を図る。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
43,674	10,257	8,205	2,052	33,417



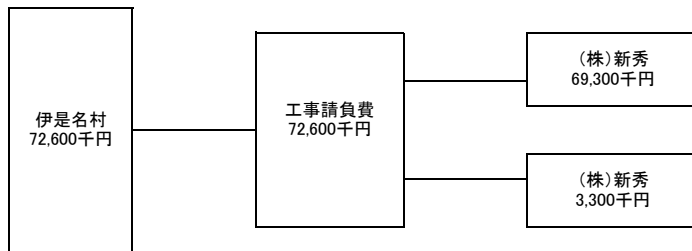
資金の用途の流、費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○自動車航送券の発券及び自動車台数の集計を取り扱っていることから支出先は妥当だと考えられる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○自動車航送券の実績を踏まえて事業を実施しており適正な予算規模と考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○7割強を受益者が負担していることから、負担関係はだとうであると考えられる。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費用・使途については確定時において支出等に関する書類により確認し適正であった。

市町村名	伊是名村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③	子育て環境づくり整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ		
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	夕離島の振興に資する事業等		
事業内容	村内の公園において子供から大人までを対象とした遊具及び健康器具の実施設計及び設置工事						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和4年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> その他(工事請負費)						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況 (a)当初予算額 (b)予算現額 (c)増減額(b-a) (d)繰越額 A.計(b+d)						70,983
							72,783
			0	0	0	0	1,800
			0	0	0	0	0
		0	0	0	0	72,783	
	B.執行済額						72,600
	うち交付金充当額						58,080
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)						99.7%
予算の状況の説明		プロポーザル方式によるプレゼンテーション実施後、ターザンロープ(ローブウェイ)遊具の追加工事を実施したため、12月補正で1,800千円を増額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	遊具及び健康器具の実施設計及び設置工事の実施	目標	()	()	()	(実施)	
		実績				実施完了	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	臨海ふれあい公園に、幼児用コンビネーション遊具、児童用コンビネーション遊具、ベーシック遊具及び健康器具の整備をした。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	遊具及び健康器具の整備の完了	目標	()	()	()	(整備)	()
		実績				整備完了	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	子育て親子同士や子供から高齢者までの世代間交流ができる新たなコミュニティの場として、臨海ふれあい公園に複合遊具及び健康器具の整備をした。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	子供から高齢者まで、誰もが飽きない施設となるよう新しい遊具の検討や施設管理を実施していく。	遊具周辺に日陰が少ないため、植栽により日陰を作り、地域住民が訪れやすい場所の提供を図る。
今後の取り組み方針		
長く親しまれるため年一回の定期点検を実施し、安全安心の施設となるよう施設管理を徹底する。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
72,600	72,600	58,080	14,520	0



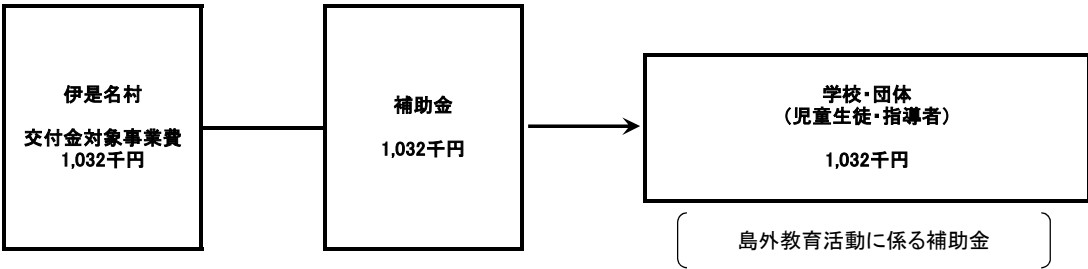
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事請負業者をプロポーザル方式(随契)で選定しており、妥当だったと考える。 ○不用額は5%以内であり適正な規模であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		伊是名村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	児童生徒島外諸教育活動支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア	
担当部署名	教育振興課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	へ人材の育成に資する事業等	
事業内容	島外の児童との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせることを目的として、島外で開催されるスポーツ大会や文化事業発表会に参加する児童生徒に対し、渡航費を支援する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a)当初予算額	2,060	2,040	2,180	2,150	2,150
	(b)予算現額	2,598	2,040	2,180	800	1,450	
	(c)増減額(b-a)	538	0	0	▲1,350	▲700	
	(d)繰越額	0	0	0	0	0	
	A.計(b+d)	2,598	2,040	2,180	800	1,450	
	B.執行済額	2,422	1,964	1,785	639	1,032	
	うち交付金充当額	1,937	1,571	1,421	622	825	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	93.2%	96.3%	81.9%	79.9%	71.2%	
予算の状況の説明	本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、4月～10月に開催される予定だった各大会等が中止又は延期となった。また、強化練習試合等に関しても新型コロナウイルス感染症予防対策に伴いあまり参加ができなかったため当初予算の減額を行った。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	島外教育活動への派遣費の支援:7団体		目標 (島外諸教育活動への派遣支援)	(島外諸教育活動への派遣支援)	(島外諸教育活動への派遣支援)	(島外諸教育活動への派遣支援)	
			実績 島外諸教育活動への派遣支援	島外諸教育活動への派遣支援	島外諸教育活動への派遣支援	島外諸教育活動への派遣支援	
			目標 ()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	コロナ渦においても、状況を把握しつつ児童生徒が島外諸教育活動に参加可能な大会等について、離島という地理的条件のために生じる経費(船賃、宿泊費の一部)各団体に支援することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をする事ができたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。		目標 ()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実績	95.0%	92.0%	93.0%	
	【参考指標】		目標 ()	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	児童生徒を島外派遣することで競技力向上や島外児童生徒と交流することによるコミュニケーション能力の向上にも繋がると考える。また、保護者アンケートを実施した結果、93%の保護者が「島内ではできない経験をする事ができた」と回答しており目標を達成することができた。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<p>・保護者からの意見として、支援対象者数が指導者3名までと取り決めているが、派遣生徒数に応じて指導者数を増員して支援できないかとの要望がある。</p>	<p>・指導者の支援については、補助の考え方及び他市町村の派遣事業を参考に慎重に進める必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・保護者アンケート調査及び指導者との聞き取り調査等も実施した上で次年度以降の本事業のあり方について検証していく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
1,043	1,032	825	207	11



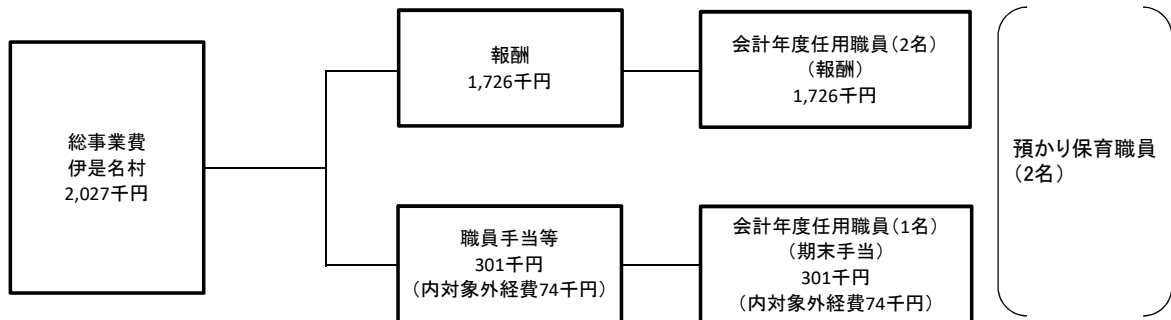
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助対象者については交付要綱等に従って決定しており、支出先の選定方法は妥当と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、派遣人数等に応じたものであり、適正な規模であったと考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○渡航費及び宿泊費(上限有り)が主な補助対象経費となっておりその他は個人の負担となっていることから、受益者との負担関係は妥当と考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。

市町村名	伊是名村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③	幼稚園預かり保育支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-イ		
担当部署名	教育振興課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	へ人材の育成に資する事業等		
事業内容	預かり保育士を配置することにより、保護者の育児における負担軽減及び保護者を安心して仕事ができる環境を整えることを目的とする。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		2,783	2,606	2,869	3,200	3,235
			2,783	2,606	1,469	2,482	2,249
			0	0	▲ 1,400	▲ 718	▲ 986
			0	0	0	0	0
	B. 執行済額	2,189	2,377	1,353	2,258	1,953	
	うち交付金充当額	1,751	1,901	1,060	1,807	1,562	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	78.7%	91.2%	92.1%	91.0%	86.8%	
	予算の状況の説明	当初予定していた雇用形態で預かり保育士を2人予定していたが、保育士を募集したところ1人しか確保する事ができず、もう1人については保育士の勤務が可能な時間帯で雇用することになり年度途中で変更申請を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	保育士の雇用2人	目標	(2人)	(1人)	(2人)	(2人)	
		実績	2人	1人	2人	2人	
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	当初の雇用形態(5時間契約)で2人を予定していた所、1人しか確保できなかったが年度途中で勤務可能な時間帯で保育士を一人雇用することができ、預かり保育士を2人雇用することが出来た。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	保護者へのアンケートで、預かり保育により育児の負担軽減が図ることができたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		92%	95%	91%	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	「預かり保育を行うことで育児負担軽減になったか」の事後アンケートで90%以上の保護者が負担軽減になったと回答した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	当初、午後1時～午後6時までの預かり保育士2人の雇用予定で募集をかけたが、1人しか雇用が出来なかった。もう1人は、午後3時～午後6時までの勤務が可能な時間帯で雇用した。そのため、幼稚園教諭も一緒に対応することがあった。	本事業は、保護者が安心して働ける環境づくり、育児負担軽減を目的に行っており、本村において必要であるが、より充実な保育サービスを行うためには、保育経験を有する保育士が必要となる。そのため、村のホームページを通して村内及び村外へ募集を行い、幼稚園教諭の負担にならないように保育士の確保に努める。
今後の取り組み方針		
保護者説明会やアンケートを通して、意見や要望などを参考に受け入れ体制の強化を図る。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
2,027	1,953	1,562	391	74



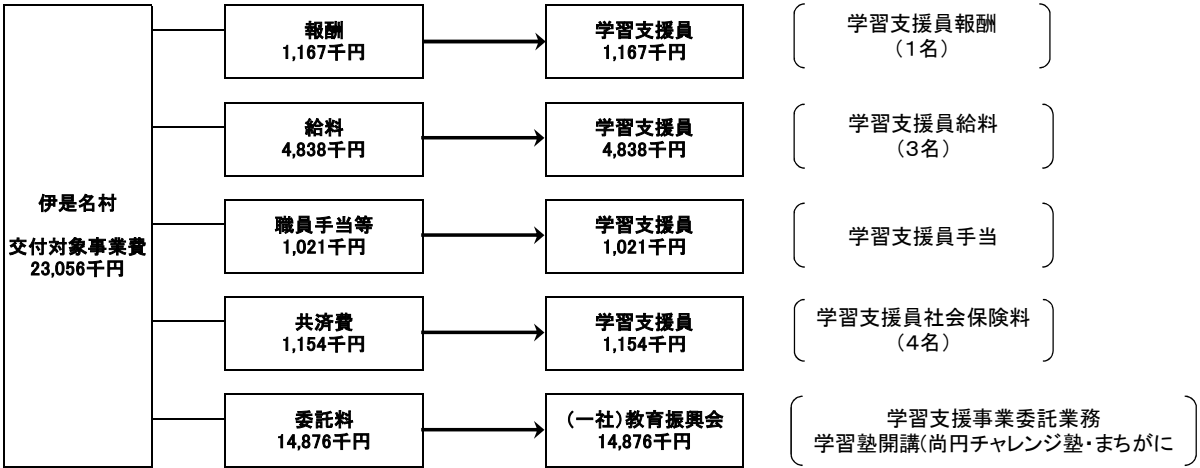
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	村の会計年度任用職員規則に沿って時給単価を定めており、報酬及び期末手当共に適正と考えられる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		伊是名村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-⑤	学習支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア	
担当部署名	教育振興課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	へ人材の育成に資する事業等	
事業内容	児童生徒の学力向上及び学校生活や学習上の困難の改善を図るため、村営学習塾及び放課後教室の開講、学習支援員を配置する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a)当初予算額	23,510	26,380	26,792	28,327	32,643
	(b)予算現額	19,965	22,630	26,792	26,106	28,830	
	(c)増減額(b-a)	▲3,545	▲3,750	0	▲2,221	▲3,813	
	(d)繰越額	0	0	0	0	0	
	A.計(b+d)	19,965	22,630	26,792	26,106	28,830	
	B.執行済額	18,680	21,063	26,562	22,322	23,056	
	うち交付金充当額	14,944	16,850	20,626	20,494	18,445	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	93.6%	93.1%	99.1%	85.5%	80.0%	
予算の状況の説明		本年度は、4月から村営塾の開塾を予定していたが、新型コロナウイルス感染症予防対策に伴い緊急事態宣言が発令されたため6月からの開塾となり、当初予算額を減額を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	学習支援員の確保:4人	目標	(3人)	(3人)	(3人)	(4人)	
		実績	2人	3人	3人	4人	
	週4日程度学習塾を開講	目標	(週5日)	(週4日)	(週4日)	(週4日)	
		実績	週3日	週4日	週3日	週3日	
達成状況説明		今年度は、学習支援員については目標値の4人で事業実施することができ、教育活動支援及び学習に遅れのある児童を中心に支援を行った。学習塾については、民間事業者へ公募型プロポーザルを実施し業者選定を行い週3日開講することができ、新たな取り組みとして、学校側と連携してタブレット端末を活用して調べ学習等を行うことで、生徒の学習意欲向上に繋がった。また、民間学習塾のノウハウを取り入れた高い指導力と充実した内容で事業を実施することができた。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	①令和2年度沖縄県学力到達度調査での村と県の平均正答率の差 小学校 -11.4ポイント以上	目標	()	(-9.1ポイント以上)	(-11.4ポイント以上)	(-11.4ポイント以上)	()
		実績		-28.0ポイント	-16.7ポイント	-16.5ポイント	
	②令和2年度沖縄県学力到達度調査での村と県の平均正答率の差 中学校 -1.1ポイント以上	目標	()	(2.8ポイント以上)	(-0.2ポイント以上)	(-1.1ポイント以上)	()
		実績		-3.4ポイント	-19.2ポイント	-14.0ポイント	
	進捗状況説明		①小学校については、-16.5ポイントで目標未達成、②中学校についても-14.0ポイントで目標未達成。				

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・塾を開校後、早い段階で学力テスト等を行い児童生徒の学力について講師が把握した上で塾と学校で、情報共有して生徒個々にあった学習メニューで取り組む必要がある。 ・学習支援員については、小学校へ3人、中学校1人の支援員を配置することができ、きめ細やかな学習支援活動に取り組むことができたが、特に支援を必要としている生徒に対しては、苦手な教科でのつまづき等を把握し、支援に取り組む必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まだまだ、学年によっては学力のバラつきがあり、このバラつきを小さくするためには継続した学習支援が有効と考える。昨年に続き学校・保護者・行政・委託業者の4者で連携し情報共有する場を作り意見交換をする必要があり、その情報を基に学校と委託業者との連携を更に強化し、児童生徒の個別学力を分析し、苦手な教科を中心に個別指導をして取組が必要と考える。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は、村営塾を開塾することで民間の高い指導力と充実した内容で事業を実施することができ、高校入試合格率100%達成することができた。今後も更に学校・塾・家庭・教育委員会の4者で連携し生徒個々の学習能力を把握した上で生徒にあったメニューの学習内容で取り組んでいく。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
23,979	23,056	18,445	4,611	923



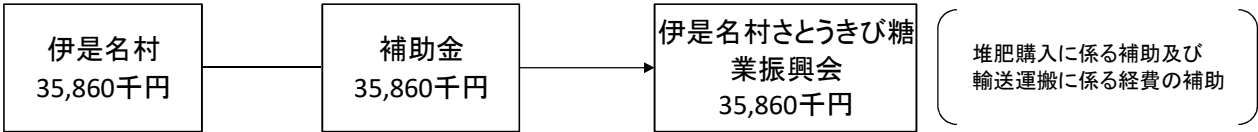
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については村の例規に則って選定しており、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模についてもほぼ見込みどおり執行し、適正である。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要な経費となっており、毎月の報告書等により確認、適正と考える。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊是名村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	伊是名村土づくり支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア	
担当部署名	農林水産課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	ハ 農林水産業の振興等に資する事業 Ⅲ-1-(6)	
事業内容	安定的な有機堆肥の供給による土づくりの促進及び、農作物の生産性の向上を図るため、沖縄本島からの堆肥購入費用及び輸送費用を支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d) B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		35,984	42,552	34,128	36,940	37,050	
		35,984	34,308	34,433	35,640	35,860	
		0	▲ 8,244	305	▲ 1,300	▲ 1,190	
		0	0	0	0	0	
		35,984	34,308	34,433	35,640	35,860	
		34,452	34,308	34,433	35,640	35,860	
		27,561	27,446	27,546	28,512	28,688	
		0	0	0	0	0	
		95.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明	当初予算と事業実績との差額が生じたため1,190千円の減額となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	堆肥導入数量:2,000t	目標	(2,000t)	(2,000t)	(2,000t)	(2,000t)	
		実績	2,000t	2,000t	2,000t	2,000t	
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	関係業者で連携をとり、堆肥散布時期にあわせて、12月までに2,000tの導入を実施することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	さとうきびの単収:5,500kg	目標	()	(5,400kg)	(5,600kg)	(5,500kg)	()
		実績		4,754kg	5,582kg	6,069kg	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	平均反収6,069kgと目標に対して569kg上回る成果となった。過去5カ年平均単収5,412kgにたいして657kgの増となった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・さとうきびの春植え、夏植え準備の時期に散布ができるように、堆肥を確保する必要がある。 ・連年散布を推進し、台風や降雨による肥料分の流亡対策を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関で情報を共有し、堆肥散布後の適期肥培管理を実施し、収量増加を図る。また、有機堆肥による土壌づくりの促進とあわせて、圃場への適量散布を啓蒙し、散布面積の拡大を図っていく。
今後の取り組み方針		
<p>関係機関で情報を共有し、災害に強い作物の生産及び、生産量の増加・維持を図るために、有機堆肥の連年散布の推進、散布後の適期肥培管理の周知を行う。また、適量散布を推進し、散布面積の拡大を図っていく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
35,860	35,860	28,688	7,172	0



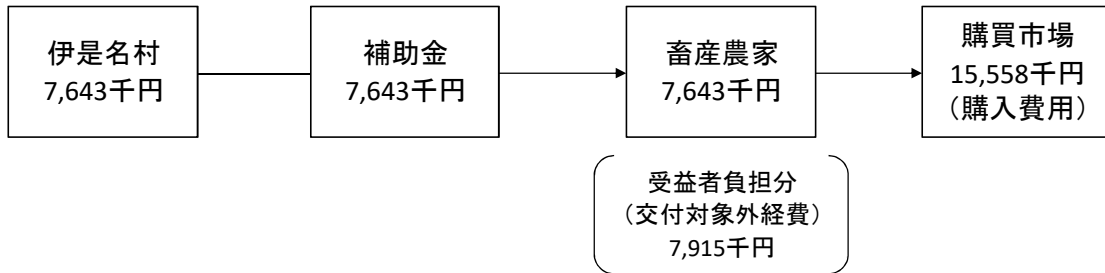
資金の 用途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○交付要綱に適合する補助対象事業者への支出となっており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は必要量と供給量の比較により妥当である。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○堆肥散布に係る経費等を受益者で負担しているため、妥当である。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であったと考える。

市町村名		伊是名村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-②	伊是名村優良繁殖雌牛導入促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア	
担当部署名	農林水産課	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	ハ 農林水産業の振興等に資する事業 Ⅲ-1-(6)	
事業内容	肉用牛の飼養頭数増加と農家経営の安定化を図るために、計画的に繁殖雌牛を導入する肉用牛繁殖農家に対して導入費用の一部を助成する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		4,800	0	2,000	2,000	8,000
			4,800	0	2,000	2,000	7,643
			0	0	0	0	▲ 357
			0	0	0	0	0
			4,800	0	2,000	2,000	7,643
	B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A)		4,696	0	1,600	1,803	7,643
			3,756	0	1,280	1,442	6,114
			0	0	0	0	0
			97.8%		80.0%	90.2%	100.0%
予算の状況の説明	当初予算にて8,000千円(20頭導入)を計上し、事業実績として7,643千円(20頭導入)の執行額となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	優良繁殖雌牛導入頭数:20頭	目標	()	(5頭)	(5頭)	(20頭)	
		実績		4頭	5頭	20頭	
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	県内外の家畜セリ市場より優良繁殖雌牛の導入を実施。計画通り20頭導入することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合:104%以上	目標	()	(103%)	(107%)	(104%)	()
		実績		102.60%	105.40%	108.32%	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	令和3年1月-12月の子牛セリ販売価格について、導入した母牛から生まれた子牛の平均販売価格654千円、その他の子牛の平均販売価格604千円となっており、価格差108.3%となった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢母牛が未だ多いので、自家保留による母牛の更新を推進し、母牛の優良性を図る必要がある。 ・畜産新規参入は牛舎の整備や草地の確保、牛の確保等初期費用が莫大にかかるため、農家数を増やすのは難しいのが現状である。 ・子牛の購入補助に加え、牛舎の整備等の補助も検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農農家や後継者等次世代を担う農家への支援を強化し、農家数の増加及び維持を図る必要がある。 ・飼養管理技術等の情報を共有することで、畜産技術力の向上を図り、生産基盤の強化につなげる必要がある。
今後の取り組み方針		
<p>計画的に自家保留による高齢母牛の更新を促進し、市場評価の高い子牛の生産を目指す。農家、村、JAが連携して、血統の組み合わせや、疾病対策等の情報を共有することで、子牛生産基盤の強化を図る。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
15,558	7,643	6,114	1,529	7,915



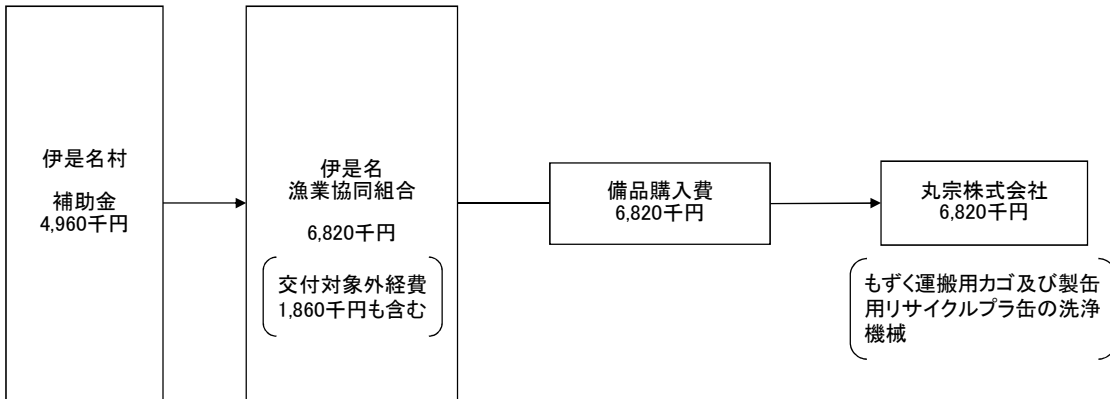
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○交付要綱に適合する補助対象者への支出となっており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○導入実績、計画等を踏まえた予算規模となっており、適正であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○補助率を1/2として農家にも一定の負担が生じていることから、妥当と考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。

市町村名	伊是名村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-③	水産物加工施設機能強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア		
担当部署名	農林水産課	事業実施(予定)年度	令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	ハ 農林水産業の振興等に資する事業 Ⅲ-3-(6)		
事業内容	もずくカゴ及びリサイクルプラ缶洗浄作業の効率化やもずく加工施設で製缶したもずくの出荷量の増加を図ること及び衛生管理に必要な洗浄機の整備を行う団体を支援する。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和4年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a)当初予算額					4,976
		(b)予算現額					4,976
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
	A.計(b+d)	0	0	0	0	4,976	
	B.執行済額					4,960	
	うち交付金充当額					3,968	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)					99.7%	
予算の状況の説明	執行率が99.7%と事業や予算について概ね計画通りに執行している。残りの0.3%は入札残となっている。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	もずく運搬用カゴ及び製缶用リサイクルプラ缶の洗浄機の導入	目標	()	()	()	(1基)	
		実績				1基	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	もずくカゴ及びリサイクルプラ缶洗浄作業の効率化やもずく加工施設で製缶したもずくの出荷量の増加を図ることに必要な洗浄機の整備を行う団体を支援することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(4年度)
	機械設備購入及び設置	目標	()	()	()	(1基)	()
		実績				1基	
	【R4成果目標】 1日当たり平均447個以上のもずくプラ缶を製缶する。	目標	()	()	()	()	(447個)
		実績					
	進捗状況説明	計画していた機械設備の導入及び設置ができた。また、令和4年度から後年度の成果目標として、1日当たり平均447個以上のもずくプラ缶を製缶する計画である。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>事業を推進する上でもずく運搬用カゴ及びリサイクルプラ缶の洗浄機械は円滑に導入出来たが、自然を相手にする養殖業においては、今後の成果目標達成に向けて、外部環境の影響を考慮する必要がある。</p>	<p>自然環境を相手にする養殖業においては、外部環境の変化を受けやすいため、出荷量の増減が、製缶数に影響を与える可能性は高いが、現状の製缶数の確認を行い、本来の出荷量を想定した場合のシミュレーションとの比較検証を行うことも考えなければならない。</p>
今後の取り組み方針		
<p>今後、生缶数や出荷量の資料を伊是名漁業協同組合が作成し、村へ報告を行っていただく。その中において、もずくのトン数が不漁の場合は、本来想定していたトン数にて比較検証を行った数値も提出していただく。本来の想定しているトン数とは、伊是名漁業協同組合が想定しているその年の収穫トン数となる。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
6,820	4,960	3,967	993	1,860



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は伊是名漁業協同組合の理事会で業者の選定を行い、指名競争入札での入札となっており、妥当と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である伊是名漁業協同組合は総事業費の3割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。